

**貸借対照表**  
(平成17年11月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	千円 341,479	<b>流 動 負 債</b>	千円 240,120
現金及び預金	71,582	短期借入金	40,000
営業未収金	261,542	未払金	10,598
前払費用	3,938	未払費用	144,775
繰延税金資産	1,777	未払法人税等	11,452
その他	4,186	その他	33,294
貸倒引当金	1,546	<b>固 定 負 債</b>	11,425
<b>固 定 資 産</b>	172,353	繰延税金負債	9,841
<b>有 形 固 定 資 産</b>	5,078	受入保証金	1,584
建物	2,747	<b>負 債 合 計</b>	251,545
構築物	27	<b>資 本 の 部</b>	
工具、器具及び備品	731	<b>資 本 金</b>	100,000
土地	1,571	<b>資 本 剰 余 金</b>	31,000
<b>無 形 固 定 資 産</b>	6,579	資本準備金	15,000
ソフトウェア	4,297	その他資本剰余金	16,000
電話加入権	2,282	<b>利 益 剰 余 金</b>	117,414
<b>投 資 其 他 の 投 資</b>	160,695	利益準備金	14,000
投資有価証券	149,465	<b>任 意 積 立 金</b>	40,000
長期貸付金	528	別途積立金	40,000
長期前払費用	22	<b>当 期 未 処 分 利 益</b>	63,414
差入保証金	10,682	<b>株 式 等 評 価 差 額 金</b>	13,873
貸倒引当金	3	<b>資 本 合 計</b>	262,287
<b>資 産 合 計</b>	513,833	<b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>	513,833

- (注) 1. 記載金額は千円未満切り捨てて表示しております。  
2. 重要な会計方針は別記しております。  
3. 支配株主に対する短期金銭債権 6,872千円  
支配株主に対する長期金銭債権 3,546千円  
支配株主に対する短期金銭債務 593千円  
支配株主に対する長期金銭債務 1,267千円  
4. 有形固定資産の減価償却累計額 9,582千円  
5. 有価証券の時価評価により、株式等評価差額金 13,873千円を資本の部に計上しております。なお、当該金額は商法施行規則第124条第3号の規定により、配当に充当することが制限されております。

## 重要な会計方針

貸借対照表及び損益計算書の作成に当って採用した重要な会計処理の原則及び手続は次のとおりであります。

### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの……………期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のないもの……………移動平均法による原価法

### 2. デリバティブの評価基準

及び評価方法……………時価法

### 3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。

無形固定資産……………定額法

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

### 4. 引当金の計上基準

貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。

### 5. リース取引の処理方法……………リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

## 6 . ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法……………ヘッジ会計の要件を満たす金利スワップについて特例処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

・ヘッジ手段……………デリバティブ取引（金利スワップ）

・ヘッジ対象……………長期借入金

ヘッジ方針……………固定金利を市場の実勢金利に合わせて変動化する場合や将来の金利上昇リスクをヘッジするために変動金利を固定化する目的で、「金利スワップ取引」を利用しているのみであり、投機目的の取引は行っておりません。

ヘッジ有効性評価の方法…特例処理によっているため、有効性の評価を省略しております。

## 7 . 消費税等の会計処理方法……税抜方式を採用しております。